

# サンクゼールの企業文化に触れる ヴィニュロンたちの食卓 Vol.38

## 2024年4月27日開催

「久世福商店」、「St. Cousair（サンクゼール）」、「MeKEL（メケル）」などの専門店を全国に約170店舗展開している、食品製造小売企業（食品SPA）の株式会社サンクゼール（本社：長野県飯綱町/代表取締役社長：久世良太）は、2024年4月27日（土）ワイナリーレストラン・サンクゼール（長野県飯綱町）において、造り手の想いを聴きながらワインと料理のマリアージュを楽しむことができる「ヴィニュロンたちの食卓 Vol. 38」を開催いたします。

2022年12月のグロース市場への上場後、投資家を始めとする多くのステークホルダーの皆様から当社の事業に関心をお寄せ頂く機会が増えています。当社の創業の原点は、取締役会長の久世良三が長野県斑尾高原で始めたペンションでした。その後、長野県飯綱町に「サンクゼールの丘」（本社）を設け、この地に根差して事業活動を行って参りました。当社事業の根幹にある企業文化を体感頂けるイベントのご案内です。

### サンクゼールワイナリーのはじまり

サンクゼールがワイン造りをはじめたきっかけは、今から30年以上前、創業者夫妻が訪れたフランス旅行でした。夫妻はノルマンディー、ブルゴーニュ、ボルドーなどを巡り、田舎の豊かさ、ゆったりとした時間の中で流れる成熟した大人の文化に触れ、田舎で世界的なワインやシードル、カルヴァドスなどが造られること、人びとは自分たちがそこに暮らすことに大きな誇りを持っていることを感じ、カルチャーショックと大きな感銘を受けました。

その後、農業立村の将来像について検討されていた長野県北端の三水村（現 飯綱町）の村長との出会いがあり、1982年に斑尾高原農場（現 サンクゼール）を設立しました。村長から村に対する熱い思いを聞き、夫妻がフランスで経験した感動を伝えると、村を挙げて夢の実現に対して全面的に協力いただくことになりました。そして、1987年サンクゼールの夢の第一歩として小高い丘の上に念願のジャム工場とレストランを建設、1988年に”サンクゼール・ワイナリー”を建設しワイナリー事業を開始いたしました。



「サンクゼールの丘」で育んだ文化をより多くのお客様にお届けするために、1999年より「St. Cousair（サンクゼール）」として全国展開を行いました。本事業で培った経営資本を活用し「久世福商店」事業を開始し、その後のグローバル展開、「MeEKL」へと事業を拡大してきました。

## ヴィニュロンたちの食卓 Vol. 38

日時：2024年4月27日（土）17:00 受付開始 17:30 スタート  
場所：上水内郡飯綱町芋川1260 ワイナリーレストラン・サンクゼール  
※受付はサンクゼールワイナリー本店  
料金：¥12,000（税込）、ノンアルコール希望のお客様¥10,000（税込）  
※ワインペアリング含む  
料理内容：アミューズ、オードブル、スープ、ポワソン、ヴィアンド、デザート6品

サンクゼールは、2005年からレストランの地下でワインの貯蔵を始めました。しかしワインを提供する機会が少なく、より多くのお客様に楽しんでいただきたいと考えようになり、2011年に”ヴィニュロンたちの食卓”を開始しました。“ヴィニュロン”とはフランス語で「ぶどう栽培とワイン造りをする生産者」を意味します。本イベントでは、ぶどうの栽培と醸造を担うサンクゼールの「ヴィニュロン」が、サンクゼールのワインに合うお料理をご提供します。お客様に季節感を取り入れたおもてなしと、ワインの想いやこだわりを一緒に語ることができる贅沢な時間を楽しんで頂くことを目的としています。

Vol38のテーマは「nostalgie」ノスタルジー。お食事の前には、芽吹いたばかりのぶどう畑にご案内いたします。若葉の隙間から覗く山々とぶどうの木の鼓動を感じながら、サンクゼールで生まれるワインに想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

コース料理は雪下人参やふきのとう、根曲がり竹など、どこか懐かしさを感じられるような北信州の食材をご用意いたします。厳選したワインと共に、ふるさとの温もりが感じられる時間をお楽しみください。



## ワイン造りのこだわり

サンクゼール・ワイナリーのある飯綱町は長野県の北部に位置し、田園風景が広がる自然豊かな場所です。降水量が少なく、日照時間が長く、寒暖の差が大きい土地は品質の良いぶどうやりんごが育つ絶好の条件が揃っていて、りんごの名産地として全国的にも知られています。サンクゼールでは自社畑で育てたぶどうからワインを造り、地元農家さんが育てたりんごからシードルを造っています。

サンクゼールの自社ぶどう園は、三つの地区に分かれており、全面積を合わせると約10haになります。最も広い約7haの「大入ヴィンヤード」は標高約650mの丘陵地帯で、志賀高原の山々のパノラマが広がっています。



### 【自社ぶどう園】

- ・総面積：10ha（内植栽面積6ha）
- ・植栽本数：約12,000本（可能本数約15,000本）